

カマツカ (コイ科)



学名 : *Pseudogobio esocinus esocinus*

別名 : スナモグリ, スナクヂ

大きさ : 全長約 20 cm

特徴 : 体は細長く、口は下に開く。一对の口ひげがある。背びれなどには黒点がある。カマツカの類似種にツチフキとゼゼラがいるが、ゼゼラは口ひげがないことで区別でき、ツチフキは口のまわりにいぼ様の乳頭状突起がないことでカマツカと区別できる。吻の長さの違いも識別に有効。カマツカ、ツチフキ、ゼゼラの順に短い。

国内の分布 : 青森県・秋田県を除く本州、四国、九州、壱岐島

県内の分布 : 霞ヶ浦水系や利根川水系、那珂川水系、久慈川水系に普通。霞ヶ浦水系では霞ヶ浦本湖ではあまりみられないが、流入河川では普通にみられる。県北地域では、大北川や十王川、花貫川などいくつかの河川で生息していたとされるが、平成年代に行われた調査では確認されていない。

県内での生態 : 砂底に主に生息しており、餌を砂とともに口に入れて食べる。

備考 : ツチフキは久慈川や牛久沼などで、



写真 : ツチフキ (上) とゼゼラ。吻の長さに注目。

ゼゼラは久慈川や那珂川などで確認されている。牛久沼ではカマツカよりもツチフキの方が珍しくない。ツチフキは環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱに選定されている。

主な文献 :

赤野誠之・位田俊臣 (1979) 茨城県河川の魚類目録-I. 久慈川および大北川. 茨城内水試調査研究報告, 16: 169-173.

杉浦仁治・根本隆夫 (1997) 1994年～1996年久慈川及び鬼怒川における投網等による漁獲物. 茨城内水試調査研究報告, 33: 89-108.